

平成30年3月18日

二段受験
空手で役立ったこと

西東京本部 浜田山支部
畠山耕司

このたびは2段昇段審査の受験をお許しいただき、岡田宗家はじめ、市川本部長に心より感謝申し上げます。月心会に入門させていただいてから本年4月で12年となります。この間、家族とともに月心会で空手を学ばせていただきましたことは、私ども家族にとってかけがえのない経験であり、また思い出となりました。家族5人それぞれかかった年月は異なりますが全員が黒帯をいただくことができ、その時の達成感は今でも忘れておりません。「親子空手」の意味するところが僅かながら理解できたような気が致します。子供も大きくなり、今までのように家族揃って道場に行くことはなくなりましたが、家族で思い出話を致しますと必ず月心会の練習や試合のシーンが出てきます。親子の心は、苦しく、また楽しかった練習の思い出で確実に繋がっていると思える瞬間です。家内とともにこれから先も月心会の空手を続け、他の練習生、これから入門する練習生に「親子空手」の良さ、そして自分なりに理解した「親子空手」の意味を伝えていければと思っております。これからも変わらぬご指導を何卒よろしくお願い申し上げます。